

## I 大学の現況及び特徴

### 1 現況

(1) 大学名 岡山県立大学

(2) 所在地 岡山県総社市

(3) 学部等の構成

学部：保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部

研究科：保健福祉学研究科（博士前期・後期課程）

情報系工学研究科（博士前期・後期課程）

デザイン学研究科（修士課程）

関連施設：附属図書館、共通教育部（教養教育推進室、語学教育推進室、情報教育推進室、健康・スポーツ教育推進室、社会連携教育推進室）、教育研究開発機構（大学教育開発センター、国際交流センター、学術研究推進センター）、総合情報機構（情報基盤活用推進センター、広報メディア開発センター）、地域共同研究機構（産学官連携推進センター、保健福祉推進センター、地域連携推進センター）

(4) 学生数及び教員数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

学生数：学部 1,632 人、大学院 219 人

専任教員数：165 人、助手数：2 人

### 2 特徴

本学は、平成 5 年 4 月、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として開学し、平成 19 年 4 月には、地方独立行政法人制度を導入し、「人間・社会・自然の関係性を重視する実学を創造し、地域に貢献する」ことを新たに教育理念として設定し、6 年間の周期で設定する中期目標・中期計画に基づいて、大学運営を行っている。

平成 25 年度から始まった第 2 期中期計画（平成 30 年度まで）においては、「全学教育に教養教育を積極的に導入する」「国際交流を促進するとともにグローバル教育を推進する」「地域貢献に戦略的に取り組む」の 3 つの運営方針を策定するとともに、これらの取組を担う大学教育開発センター、国際交流センター、地域連携推進センターなどの設置を核にした組織再編を行い、大学改革を進めている。

#### (1) 人材育成像

建学及び教育の理念を念頭に、3 学部の人材育成像は、「人間」「社会」等をキーワードに構成している。具体的には、保健福祉学部は人々の健康の維持・増進

と福祉の向上に貢献できる人材を、情報工学部は情報技術を活用して人間を中心に据えた社会の持続的発展に貢献できる技術者を、また、デザイン学部は豊かで新しい生活と文化の形成に必要なデザインとマネジメント能力を有し、地域で貢献できる人材を育成している。

#### (2) カリキュラム

共通教育と学部教育の主体的な学びを通じて、将来に向けた確かなキャリアを築くことを目的に、3 つの運営方針の下に教育改革を行い、カリキュラムを創設している。

共通教育の導入では、人文・社会科学、自然科学及び健康科学のカテゴリーを設けて知識やスキルの学びを通じて思考力や判断力を養成している。

グローバル教育の推進では、英語を中心にしたコミュニケーション力を培うとともに、海外研修や国際交流に関する事業を通じて異文化を理解し、グローバル・グローバルに活躍できる能力を養成している。

また、社会連携教育では、地域の歴史文化、行政、産業等について学ぶとともに、地域と連携して地域の課題解決に取り組む形態の教育により、課題解決力を醸成することとしている。これらは、文部科学省の平成 27 年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（以下「COC+事業」という。）の選定を機に、副専攻「岡山創生学」の創設に至り、年次計画に基づいてその充実を図っている。

#### (3) 入学と卒業

入学者の半数程度が岡山県出身であり、さらに、卒業生の半数強が岡山県内に就職している。現在、(1) の人材育成とともに、COC+事業の趣旨に沿って、地域を志向する人材の育成とその受け皿づくりを進めており、若者の地元定着率の向上に取り組んでいる。

#### (4) 戦略的な地域貢献の推進

公立大学の役割と機能を果たすため、自治体、企業、地域の団体等のニーズに対応して、健康福祉の維持・増進、情報化の推進、文化的価値の創造等を中心に様々な領域で活発な支援を行っている。また、COC+事業の選定を機に、今後の地域貢献活動は、地域と連携し、地域との協働による取組に移行することとしている。

